

『第2期江南市子ども・子育て支援事業計画の見直し（案）』に関するパブリックコメントの結果について

◆意見の募集期間 令和4年7月13日（水）から
8月12日（金）まで

◆意見を提出された方 11人

◆意見の件数 19件

◆意見の概要、市の考え方をまとめたもの

（※意見の概要につきましては、取りまとめ及び要約をしています。）

【保育園、学童保育所の開始時間について】

意見の概要	時短勤務で就業中だが、時短勤務が終了すると、延長保育を利用して7時半に保育園に預けても出勤時間に間に合わなくなる。また、小学校進学後、朝、子どもが一人で施設して出て行かなければならなくなる。保育園、学童保育所で7時から受入可能な体制を整えてほしい。
市の考え方	今回の計画の見直し内容とは直接関連のないご意見ですが、今後の子育て施策の検討にあたって参考にさせていただきます。

【保育園の送迎について】

意見の概要	<p>① 布袋西保育園の近隣は、歩道が狭く危険なため車で送迎しているが、駐車場がないため、多くの保護者が順番待ちで側道に駐車し、子どもと荷物を抱えて通園している。保育士が安全確保のため見回りをしているが、混雑時は危険な場面をみることもある。</p> <p>警察から側道の駐車は違反との通達があり、翌日から保護者が車にのったまま、保育士が車から直接、児童を受け取る対応をしている。</p> <p>これは保育園が対処する問題ではなく、市の問題ではないか。駐車場の問題は、これまでずっとあったはずで、警察との連携もなく、道路環境や駐車場の整備をせず、現場の保育士に負担を強いる対応には疑問を感じる。</p> <p>昨今のコロナ対策で、保護者との接触を避けるため、本来は保護者がする支度なども保育士が代行しており、保育園は様々な負担を強いられている。そのうえで、さらな</p>
-------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>る負担がかかる状況を心苦しく思う。</p> <p>子育て支援事業の計画について、駐車場の確保、老朽化した設備の改善、保育士の待遇改善など、保育園の環境改善を望む。</p> <p>② 駐車場が少ない保育園では、祖父母が自転車や徒歩で送迎に協力している。だが、統合に伴い自宅から遠くなればそれもできず、かえって子育て支援の手を奪うことになる。</p>
市の考え方	<p>令和 2 年 12 月に行った調査では、市立保育所の園児の 83%が自動車により送迎されており、駅から近い中央保育園も 74%、古知野南保育園が 78%にのぼっています。市が平成 29 年度に策定した江南市公共施設再配置計画では、老朽化した保育所は、他の施設と統合・複合化しながら、保育サービスの充実や送迎のための自家用車の駐車スペースの確保など新たなニーズへの対応を図ることとしており、送迎時の安全確保のための保育士の負担については、軽減されるものと考えています。また、今後、第 3 期子ども・子育て支援事業計画策定（令和 7 年～11 年）にあたり保護者アンケートを実施する際には、園児の送迎手段などについて調査し、今後の保育所の立地や敷地面積、駐車スペースの配置などの検討に活かしていきます。</p>

【第 3 子育て支援センター（こーたん）の廃止について】

意見の概要	<p>こーたんがなくなってしまうと、北部地域の未就園児はいったいどこで過ごせばよいのか。</p> <p>第 2 センターはいつもいっぱい、こーたんに行っている子どもたちが通う余裕はない。コロナによって利用者数が制限され、そもそも遊び場が閉鎖されていることも多い。</p> <p>また、江南市は未就園児が安心して遊べる場所が少なく、親子たちは家の中にふたりきりで取り残されている。ただでさえ孤立しやすい未就園児親子が、コロナを機に満足に子どもを遊ばせることすらできない状況になっている。</p> <p>保育園の充実だけでなく、未就園児、未就園児を持つ母親の孤立を防ぐためこーたんの存続を望む。</p>
市の考え方	<p>第 3 子育て支援センター（こーたん）の運営を受託する愛知江南短期大学からは、現在のところ、第 3 子育て支援センター（こーたん）を閉鎖するとは聞いていません。</p>

【こども広場の設置について】

意見の概要	<p>すいとぴあやスポーツセンターなど既存の施設を利用してこども広場を設置することはできないか。</p> <p>人員設置やおもちゃ配置が難しいのであれば、ショッピングモールにあるようなマットがある広場でも未就園児には十分である。</p>
市の考え方	<p>今回の計画の見直し内容とは直接関連のないご意見ですが、今後の子育て施策の検討にあたって参考にさせていただきます。</p>

【育休退園について】

意見の概要	<p>いわゆる育休退園問題を改善してほしい。一度退園してしまうと、再度保育園へ入園することが困難で社会復帰ができなくなる可能性が高いことや、幼い子供を複数人家庭保育することの不安から第2子をあきらめざるを得ない状況を作り出している。</p>
市の考え方	<p>今回の計画の見直し内容とは直接関連のないご意見ですが、今後の子育て施策の検討にあたって参考にさせていただきます。</p>

【放課後の子どもの居場所について】

意見の概要	<p>① 放課後の子どもの居場所としてフジッ子教室や学童保育を充実させてきたが、一時的ではなく慢性的な待機も発生している。コロナ禍の中で手を差し伸べる大切な施設として、市民の税金を思い切って投入してほしい。</p> <p>② 児童館は、狭いアパートなどに住む人が気兼ねなく子どもと声をあげ、笑いながら過ごせる場や、放課後、遊び場を求める児童の居場所にもなる。子どもの遊び場や居場所づくりなどで子育て支援を充実してほしい。</p>
市の考え方	<p>今回の計画の見直し内容とは直接関連のないご意見ですが、今後の子育て施策の検討にあたって参考にさせていただきます。</p>

【新型コロナウイルス感染症による影響について】

意見の概要	<p>子どもや子育てをめぐる環境の変化を踏まえた見直し案とあるが、コロナで大きく環境が変わり子育てにも影響を与えていることに関して記述がない。2年半を超えてもまだ収まりそうもなく、コロナの影響に関する記述が必要で</p>
-------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	はないか。
市の考え方	<p>市の子育て支援施策の実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症のまん延により、保育所を一時的に休園せざるを得ないなど大きな影響を受けている状況にあります。</p> <p>子ども・子育て支援事業計画は、幼稚園や保育所などの施設やその他子ども子育て支援事業の量の見込みとその提供体制の確保方策を定めることを主な目的としており、その検討にあたっては、新型コロナウイルス感染症など、一時的な利用ニーズの変動要因は加味しないものと考えています。</p>

【数値の確認について】

意見の概要	<p>① (2) 保育所の施設状況で他団体との施設別の所有量の比較（愛知県内 38 市）において、保育園の指数は、延床面積は約 185、施設数は約 195 になるのではないかと。また、38 市に名古屋市は含まれるか。</p> <p>② 幼稚園及び保育園の[現状]で令和元年度のデータが記載されていないのはなぜか。</p> <p>③ 保育所の定員は 2,200 人だが、確保方策 2,118 人と差があるのはなぜか？</p> <p>④ 保育所等空き状況（HP）では令和 4 年 9 月入所で 3～5 歳児の入所可能人数は計 318 人とあるが、計画の見直し（案）の令和 4 年度の（確保方策一量の見込み）は 180 人で、0 歳児 0 人（HP）に対し 7 人（計画）、1～2 歳児 13 人（HP）に対し 51 人（計画）と、なぜこのような大きな差がでるのか。</p>
市の考え方	<p>① 施設別の所有量の比較における指数は、名古屋市を含む愛知県内の 38 市について、各市の施設面積、施設数を合計したものを人口で除するのではなく、各市の人口当たりの延床面積と施設数を算出し、その数値を平均したものととしており、2 ページの指数のとおりとなります。</p> <p>② 第 2 期江南市子ども・子育て支援事業計画は令和 2 年度から 6 年度を計画期間とするもので、令和元年度の策定時点においては、実績値を示すことができません。</p> <p>③ 保育所の定員は、各保育所の保育室、ほふく室などの面積基準に従い算出し、確保方策は、各保育所に配置する保育士数に応じ、保育士の配置基準に従い算出しています。</p>

	<p>④ 令和4年3月18日付けで内閣府が示した「第2期市町村子ども・子育て支援事業計画等に関する中間年の見直しのための考え方について」では、教育・保育給付認定を受けた保護者の認定区分（2号認定：3～5歳、3号認定：0～2歳）ごとに、量の見込みと実績値（令和3年4月1日時点）を比較し、10%以上の乖離がある場合は原則として見直しを行うこととされていましたが、10%以上の乖離がなかったことから、今回の見直し（案）では数値の修正をしていません。</p> <p>ただし、ご指摘のとおり計画上の数値と実際の保育所の空き状況には大きな差が生じていることから、第3期計画（令和7年～11年）の策定時には、利用児童数の推計、女性の就業増加などによる利用意向の変化や市の保育士の配置状況などを踏まえ、より実態に即した計画としていきます。</p>
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【市民への説明について】

意見の概要	市立保育所の統合に伴い民営化を図るとあるが、民営化のメリットやデメリットを丁寧に市民に説明して理解を得られるようにする必要がある。
市の考え方	現在民営化を検討しているあずま保育園と中央保育園の統合園については、整備予定地周辺の住民や、2園に通園する園児の保護者、2園周辺の住民の皆様に向け説明会を開催し、市の公共施設の状況、経緯や、統合・民営化のメリット・デメリットについて理解を得られるよう説明しています。

【パブリックコメントの実施時期について】

意見の概要	今回の見直しは、「統合と民営化ありき」の改正ではないか。図書館跡地に大規模な統合園の計画が発表され、住民説明会直前の「意見募集」である。市民自治によるまちづくり基本条例の趣旨、市民参加条例第5条にも反するのではないか。
市の考え方	江南市市民参加条例第5条では、政策の形成、執行及び評価の過程における適切な時期に、市民参加を行うこととされています。現在民営化を検討しているあずま保育園と中央保育園の統合園については、整備予定地周辺の住民や、2園に通園する園児の保護者、2園周辺の住民の皆様

	<p>に向け説明会を開催し、市の公共施設の状況、経緯や、統合・民営化のメリット・デメリットについて理解を得られるよう説明しています。説明会開催後、具体的な建設・運営方針などについて検討し、改めてパブリックコメントを実施し、市民の皆様の意見をお聴きする予定としています。</p>
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【統合・民営化の必要性について】

<p>意見の概要</p>	<p>① 保育は基本的に公共で行うもので、公立保育所を民営化するのは反対である。今の保育所数を減らすことなく、それぞれの保育所において施設の修繕や駐車場などの整備、保育内容の改革など、必要に応じて行っていくべき。しかし、今の江南市の保育の在り方が非効率であり、財政負担が大きく公的サービスにしわ寄せがきているというのであれば、その根拠を具体的に示すべきである。</p> <p>② 保育園の統合は、園児等の減少によって運営が厳しくなった保育園を統合し、新しい保育園を運営していくことのために検討されるのが本来のあり方だが、新しく統合される2つの保育園は、それぞれ100人規模で十分な保育が行われており、統合の必要はない。</p> <p>③ 今回の見直し案について、見直しの背景が述べられているが、具体的説明、根拠や明確な見通しなどが示されず、なぜ見直しの概要にあるような結論に結びつくのかまったくわからない。唐突で性急な見直しである。</p>
<p>市の考え方</p>	<p>市の公共施設は、築30年を超える建物が全体の約8割を占め、保育所についても、18園のうち17園が40年を超えています。これらの施設は今後一斉に老朽化が進行し、その改修や更新、維持管理に多額の費用が必要になると見込まれています。市が平成27年度に策定した江南市公共施設等総合管理計画で、今後、市が所有する公共施設及び道路などのインフラ施設の改修や更新に必要な費用及び充て可能な財源見込みを試算したところ、現状の施設規模を維持した場合、令和37年までの間に公共施設等の更新に係る財源が304.4億円不足することが明らかになりました。施設の安全性を確保し持続的な行政サービスを提供するには、適正な配置や規模を検討した上で統廃合などにより施設総量を縮減し、安定的に財源を確保する必要があり、平成29年度に策定した江南市公共施設再配置計画では、老朽化した保育所は、他の施設と統合・複合化しながら、保育サ</p>

	<p>サービスの充実や送迎のための自家用車の駐車スペースの確保など新たなニーズへの対応を図ることとしています。</p> <p>本市において、子どものいる世帯に占める共働き世帯の割合は上昇を続けており、2 ページ上段のグラフにあるように、0～2 歳の子どものいる世帯は、全体の世帯数は減少しているにもかかわらず、近年の女性の労働状況の変化などの影響で、共働き世帯数は増加しています。保育所における基準では、4・5 歳児 30 人に 1 人、3 歳児 20 人に 1 人の保育士を配置しなければならないのに対し、1・2 歳児では 6 人に 1 人、0 歳児は 3 人に 1 人となっており、今後も 0～2 歳の子どものいる家庭の共働き率が上昇すれば、保育所の利用希望者が増加し、保育士の人員不足による待機児童が発生しやすくなることが予想されます。</p> <p>また、本市は、公共施設の人口当たりの延床面積が愛知県内の 38 市中 3 番目に少ない状況ですが、2 ページ下段のグラフで示すように、保育所は平均を上回っています。一方で市内に民間保育所は 1 箇所もなく、認定こども園は 1 箇所しかないため、保育を必要とする児童に対する保育サービスの大部分を市立保育所で提供しており、民間保育所等が立地する他市に比べ、その割合が大きくなっている状況です。</p> <p>上記でお示したように、保育士不足や待機児童の解消、施設に係るコストの縮減を図るとともに、特色ある保育を実施する事業者を公募・選定することで、保育や子育て支援の選択肢を増やし保育サービスを充実させるため、今回の見直し案では、市立保育所の統合にあわせ、民営化を図る方針とすることとしています。</p>
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【統合に伴う規模の拡大について】

<p>意見の概要</p>	<p>統合に伴い 200 人規模の大規模保育園となると、とても家庭的できめ細やかな保育は望めない。いわゆる保育産業を運営する大規模事業所にしか運営できないのではないかと。</p>
<p>市の考え方</p>	<p>保育所における基準では、園児の総数にかかわらず、4・5 歳児 30 人に 1 人、3 歳児 20 人に 1 人、1・2 歳児では 6 人に 1 人、0 歳児は 3 人に 1 人の保育士を配置しなければならないこととされており、大規模な保育所であってもクラスの運営には影響はないものと考えています。</p>

	<p>また、民間事業者の選定にあたっては、保育所の規模や施設数などの運営実績を確認し、保育の質が低下しないよう事業者を選定していきます。</p>
--	--------------------------------------------------------------------------

【小学校区の異なる保育所の統合について】

意見の概要	<p>異なる小学校区の保育園を統合するのは無理が生じるのではないか。</p>
市の考え方	<p>現在でも、同じ市立保育所の児童が全て同じ小学校に入学しているわけではなく、また、幼稚園や認可外保育所など、市立保育所以外の教育・保育施設から小学校に入学する児童がいるのが現状ですが、アクセス方法などを勘案しながら各小学校区にバランスよく保育所を配置するよう、できる限り配慮します。</p> <p>また、異なる小学校区の保育所を統合する際は、同じ小学校区の児童が多くなるようクラス編成に配慮していきます。</p>

【民営化後の保育内容の継続について】

意見の概要	<p>民営化される旧施設で行っている低年齢児保育や特別支援保育は新施設でも実施されるのか。</p>
市の考え方	<p>旧施設で行っている保育内容について、事業者の公募の際に施設の募集要項などに盛り込んでいきたいと考えています。</p>

【避難所指定について】

意見の概要	<p>老朽化したのであればそこで建て直すことを望む。歩いて行ける距離にある公立保育園は災害時には避難場所になり、保育士は自治体職員としての責務を担うが、民間ではできない。</p>
市の考え方	<p>市では、公共施設の統廃合などによる指定避難所の収容人数の減少を最小限に抑えるため、市有施設に限らず、県有施設や民間施設などを新たな避難所として指定することも視野に入れ、関係機関と協議していきます。なお、避難所の開設は市職員（保育士以外）だけで行っています。</p>

【保育園の運営手法について】

<p>意見の概要</p>	<p>① 新自由主義 30 年のイギリスでは PFI 事業の借金が約 28 兆円となっており再公営化の流れが止まらず、民営化することは決して安上りにはならないということが 30 年を経て立証された。江南市も安易に民営化の道に進むのではなく、子どもたちに質の高い保育を提供できる公立保育園こそ、市の財産として継承してほしい。</p> <p>② 指定管理者制度（民間委託）でどれだけのコストが削減できたのかデータを示してほしい。</p> <p>③ 民間企業が運営を辞めたらどうなるのか。実際に、古西保育園の管理者である江南短大は令和 4 年度末で閉学になる。その後はどうなるのか。安定した保育を提供することは、市の大きな役割である。</p>
<p>市の考え方</p>	<p>①・②</p> <p>現在市が検討しているのは、PFI 事業や指定管理者制度を活用するのではなく、民間事業者による民間保育所の整備を促進するものです。したがって、コストの削減額についてのデータは今回お示ししていません。</p> <p>民間事業者が保育所を整備する場合は、国の交付金などを活用することができるため、市の財政面において施設の整備などに係るコストの縮減に繋がり、また、特色ある保育を実施する事業者を公募・選定することで、保護者にとって保育や子育て支援の選択肢が増え、保育サービスの充実が図られるなどのメリットがあると考えています。</p> <p>③ 古知野西保育園の指定管理者は、令和 4 年 3 月市議会定例会において、新たに令和 5 年度からの 5 年間の指定に関する議案が議決されています。</p> <p>また、民間事業者の選定にあたっては、財務状況などを確認し、長期の安定的な運営が可能と思われる事業者を選定していきます。</p>

【保育の運営効率化について】

<p>意見の概要</p>	<p>① 「…市立保育所の運営を効率化するために…市立保育所の統合に伴い民営化を図ります」効率化とは何か。</p> <p>幼児期は人間の脳が最も成長する重要な時期で、5～6 歳で成人脳の 90%に達すると言われている。よって保育の効率化という発想に危うさを感じる。</p>
--------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>② 市の施設や設備が古かったり、設備や制度が整っていないせいで、保育士の仕事を増やしているのではないか。例えば、靴入れや連絡帳、名前のマーク、お絵かきに使う用紙など、手作りでなくてもよいと思われるものも手作りしている。もちろん利用者としては手作りは温かくて嬉しいが、結果、保育士の負担となるのではないか。靴入れは何年も繰り返し使えるものを、連絡帳や名前マークは既製品を、お絵かき用紙は切らずにそのまま使える裏紙を、など負担を減らし、保育の質をさらに良いものとしていくような取り組みをしてほしい。</p> <p>③ 保育園と同じように市立小中学校の運営効率化も可能なのか。保育園はできて小中学校はできないという理屈は理解できない。</p>
市の考え方	<p>①・② 江南市公共施設再配置計画では、保育所を含めた公共施設の更新費用の財源不足解消のため、近接した施設や、類似機能を持つ施設を統合・複合化し利便性を高めるなど、サービスの低下を招かないよう配慮しながら施設総量を縮減し、同時に改修・更新することで効果的かつ効率的に施設の安全性を確保することとしています。</p> <p>さらに、市立保育所の統合に合わせ民営化を図ることで施設の整備などに係るコストを縮減するとともに、特色ある保育を実施する事業者を公募・選定することで保育や子育て支援の選択肢を増やし、保育サービスの充実が図られるなどのメリットがあると考えられます。</p> <p>また、統合や民営化に伴い廃園となる市立保育所の保育士は他の市立保育所へ配置転換することで、慢性的な保育士不足の解消、保育士の負担軽減などに繋がるものと考えています。したがって、統合や民営化により市立保育所の運営を効率化することが、保育サービスの低下に繋がるものとは考えておりません。</p> <p>③ 小中学校も同様に老朽化が進行しており、江南市公共施設再配置計画において、学校に近接し、同じく老朽化した施設と複合化し、同時に改修・更新することなどで、効果的かつ効率的に施設の安全性を確保し、コストの縮減を図ることとしています。</p>

【民間保育所における保育の質などについて】

<p>意見の概要</p>	<p>① 市には18の公立保育園があり、比較的住まいに近いところに通うことができ、子育ての悩みや、不安も相談することができる大切な場である。保育士も一人ひとりの子どもの様子を観察し、子供の成長や変化を見守り、DVや家庭の事情、児童虐待になるような兆候にも気を配るという役割を担ってきた。民間保育園でこのようなきめ細やかな保育ができるだろうか。</p> <p>民営化されると、事業者の責任で保育が行われ、保育園内でどのような保育が行われているか見えなくなり、市として改善等を求めることは難しくなる。公立だからこそ、保育の内容や問題点も改善すべき点も明らかになる。</p> <p>② 保育の民営化は保育士の低賃金化を招いている。民営保育士の人件費が社会福祉法人のそれより低いことを示すデータもある。保育士の待遇は保育の質にも影響する。</p> <p>③ 公立保育園の良いところは、保育士が市の職員であり、ベテランから若い保育士までいることで、子育て中の親子にとって安定した人間関係を築くことができる。民営化（指定管理制度）では、職員の給与等処遇からベテラン保育士が不足するおそれもある。民営化によって保育が変わったり、保育士が入れ替わったりすることに、子どもや保護者は大きな不安を抱く。布袋北保育園の委託の例では、多くの保育士が退職して、1年間に3回も担任が変わることがあったと聞く。民営化直後、子どもたちの怪我也増えたとの報告も。民営化による混乱は、保護者にとって大きな不安。</p>
<p>市の考え方</p>	<p>民営化に伴う課題として、民営化直後は、保育士の入替わりや、施設や保育に関する方針の変更など、園児をとりまく環境が変わることで、園児にとってストレスと感じられることが多くなる可能性があることなどがあります。</p> <p>園児や保護者の不安を少しでも減らすため、市立保育所の民営化にあたっては、民営化後の運営を担うことになる保育士が、移行前に民営化対象の施設に勤務し、市の保育士と合同で保育を実施したり、移行後も、市立保育所と民間事業者との協議の場を設けるなど、連絡・連携を密にし、市として一定の関与をしていく仕組みの構築を図り、児童虐待の通告義務などについて、周知・啓発をして連携しながら対応していきます。</p> <p>また、民間事業者の選定にあたっては、財務状況や人員</p>

	体制などを確認し、長期の安定的な運営が可能で、保育の質が低下しない事業者を選定していきます。
--	------------------------------------------------

【総合的な支援を行う保育園の整備について】

意見の概要	7カ月から乳児保育、病児・病後児保育（嘱託医・看護師常駐）、障害児保育など子育て中に一番必要な支援のできる総合的な保育園を整備してほしい。
市の考え方	保育所を整備する際には、他の教育・保育施設を含めた施設の立地状況や地域特性、需給状況などを勘案し、乳児保育や障害児保育など、地域ごとに適した保育サービスを提供することができる施設を配置するよう検討します。